







企画名	冬水田んぼで田植えをしよう
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 TEL : 090-2234-5610 Email : info@teganuma-trust.jp ホームページ : http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第1弾。地域住民の力で里山を保全します。
日時	2023年5月14日(日) 8:30~12:00
プログラム・概要・ルート等	冬でも水をはっておく冬水田んぼは、田んぼをめぐる生きものにやさしい田んぼです。そんな生態系保全型の田んぼで、子供たちを含む地元住民の参加を得て、田植えをしました。雨で順延になったので、参加者はやや少なく、138名の参加となりました。 子ども部会と外部参加者はむらさき黒米を植えました。田植え終了後、泥んこリレーが開催され、おおいに盛り上がりました。
参加対象	一般市民
参加人数	一般参加者：大人11名、小学生8名、幼児6名 トラスト会員：大人88名、小学生10名、幼児8名 スタッフ7名 計138名
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 並んで、並んで。 さあ、1, 2, 3! </div> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> じょうずに植えてるね。 </div> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> リレーはやはり盛り上がります。 </div> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 見学者も泥にまみれます。 </div> </div> </div>	
参加者や実施団体の感想	泥んこリレーで1番になった！（幼稚園年中） 泥遊びは楽しかったけど、途中で寒くなった。（小学2年生）

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">春の谷津で生きもの探し</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 岡発戸・都部の谷津を愛する会 問合せ先 田島 友昭 TEL・FAX： 04-7188-8778</p>	
<p>目的</p>	<p>冬から覚めた春、たくさんの生きものが生息する貴重な谷津の魅力を知ってもらう。</p>	
<p>日時</p>	<p>2023年6月10日（日）10:00～12:00 ※6月3日雨天のため延期</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>		<p>講師：柄澤保彦さん、長年自然観察・講師・保全活動に取り組み、岡発戸・都部の谷津では、四季を通して近隣小学校の観察会講師をされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 作業小屋前で、谷津内での注意事項等の説明（担当：田島） ➢ 小屋前水路土手で、バッタ・トンボの持ち方を説明。小学生が捕虫網でバッタを捕まえ、柄澤さんに名前を聞いていた。 ➢ 谷津内に入ってすぐ、菖蒲（ショウブ）の利用法について聞き、葉の匂いを皆で嗅いだ。 ➢ トンボを捕まえた小学生が、柄澤さんの前に並んで説明を待っていた。 ➢ 多くの植物・昆虫が見つかり、柄澤さんのわかりやすい説明をきくことができた。
<p>参加対象</p>	<p>小学生以下は親子参加</p>	
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 14名（大人 9名、幼児 1名、小学 4名） 会員スタッフ 5名（会員 4名、講師 1名）</p>	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">  <p style="text-align: center;">朝、作業小屋の前に集合</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p style="text-align: center;">はやくいこうよ</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p style="text-align: center;">さわれないけど なんだろう、この虫？</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p style="text-align: center;">先生に、これも 教えてほしいな</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p style="text-align: center;">まずは つかまえるぞ</p> </div> <div style="width: 33%;">  </div> </div>		
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨のため予定が伸びたので、早く谷津に来たかった。おもしろかった。 ・ リピーターの男性：春のせいか、生き物が新鮮に見えた。 ・ 大きな網を持った小学生：トンボが速くて「採れなかったのが悔しい。また来てトンボを採りたい。 	

<p>企画名</p>	<p>かかし作り・かかし祭り</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp</p>
<p>目的</p>	<p>生態系保全型の冬水田んぼで作ったお米を守るかかしを作る。 かかし作りを通して、自然と共生する米作り・地域作りを身近に感じてもらう。</p>
<p>日時</p>	<p>① かかし作り・・・2023年7月8日(土) 8:30～12:00、7月22日(土) 8:30～12:00 ② かかし祭り・・・2023年8月19日(土)9:00～11:30</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>7月8日の外部参加者・子ども部会のかかし作りでは、総勢65名の参加者が11体のかかしを作りました。手賀沼トラスト子ども部会の親子が準備・指導にあたり、手際よくかかしが作れました。 7月22日には、手賀沼トラストの大人部会が8体のかかしを作りました。 8月19日のかかし祭りには2名の外部参加者と122名のトラスト会員が参加し、投票の結果、外部参加者、子ども部会、大人部会それぞれ2体選ばれました。後日美味しい新米が贈呈されます。 虫や動物に詳しい自然観察員の渡辺さんから、冬水田んぼに住む虫たちと生態系についての話があり、絵入りの資料を見ながら、子供たちが熱心に聞いていました。</p>
<p>参加対象</p>	<p>一般市民</p>
<p>参加人数</p>	<p>① かかし作り 7月8日(土) 一般参加11名(大人5名、子ども6名) 子ども部会54名(大人22名、子ども32名) スタッフ4名 7月22日(土) 手賀沼トラスト会員68名、スタッフ14名 ②かかし祭り 一般参加2名(大人1名、子ども1名) 会員116名、スタッフ6名</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>できたぞ！</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ヤンマ！</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>生態系のお勉強</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ぼくも投票する</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>*去年よりじょうずにできた！ *チューペットをたくさん食べた。 *たくさん並んですごかった。</p>

企画名	川や沼の水のよごれをはかってみよう！ぷりぷりせっけんを作ろう！
実施団体	団体名 我孫子市石けん利用推進協議会 問合せ先 我孫子市消費生活センター TEL：04-7185-1469
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ パックテストで手賀沼や川の水の汚れ（COD）を測定し、水質への関心を高める。 ・ 私たちが使用している水は繰り返し使用されていることを発見し、生活の仕方を考える。 ・ ぷりぷり石けんを作り、自然界で分解しやすい石けんを身近に感じてもらう。
日時	2023年7月16日（日）1回目 13:00～14:15、2回目 14:45～16:00
プログラム・概要・ルート等	① 水の汚れの測定にCOD値が使用されることを知り、その測定方法を知る。大堀川・手賀沼・湖北集水路・利根川の水を観察し、汚れをパックテストで調べる。 ② 我孫子市消費者の会制作デジタル教材「手賀沼を美しく」を視聴し、手賀沼の汚れの変遷を知り、我孫子市が石けんの利用を推進している理由を知る。 ③ 使った水の行方考える、手賀沼終末処理場と排水口の位置からわかること。 ④ 利根川の取水口、排水口を地図上にマグネットでプロットし、水は繰り返し使用されていることを知る。 ⑤ 水を汚さない工夫 ⑥ ぷりぷり石けんづくり ⑦ 石けんで新型コロナを退治 ⑧ ガシヤモクを見て手賀沼を浄化する意識を高め
参加対象	親子（5年生以上は単独参加可）
参加人数	一般参加 39名（大人 18、小学生 19、中学生 1、幼児 1） スタッフ 9名（協議会委員 7名、市職員 2名） 計 48名



よごれをはかる
CODを知ろう



利根川の取水口、
排水口について考える



プリプリせっけんを作ろう



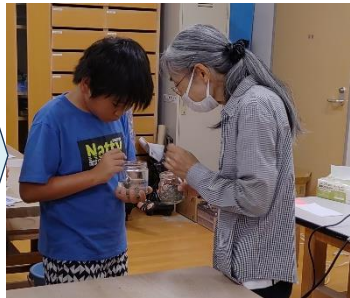
せっけん製品とガシヤモクを展示

参加者や実施団体の感想	<p>子ども ・水を汚さない工夫が大事なのがわかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私はせっけんが好きなので、それをもっと使うようにしようと思いました。 ・ 少し前にテレビで手賀沼の水が汚れてしまった原因がやっていて、そして今日あらためて見たら、はやく水がもっときれいになってほしいなと思いました。 <p>大人 ・無理のないできる範囲で水をキレイにする意識をもっていきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は琵琶湖の近くで育ちましたが、同じような取組の話を小学校時代に聞いたのを覚えています。小さな活動からでとやっ行って行こうと思います。
-------------	---

企画名	調べよう！～マイクロプラスチックはすぐそこに～
実施団体	<p>団体名 我孫子市消費者の会</p> <p>問合せ先 加藤マリ子 TEL: 04-7105-5292 Email: kato_mariko@jcom.zaq.ne.jp ホームページ: http://www.abikoshi-syouhisyanokai.net/wp/</p>
目的	マイクロプラスチックが何から発生するかを知り、身近にあることを体験し、減らしていく暮らしを考えてもらう。
日時	2023年7月22日(土) 13:30～16:00
プログラム・概要・ルート等	<ol style="list-style-type: none"> ① 私たちの暮らしは様々なプラスチック製品(1次MP:マイクロビーズ・カプセル等を含む)に囲まれている。放置されたプラスチックごみは劣化し、マイクロプラスチックとなって身の回りにあることを知る。 ② 手賀沼公園でマイクロプラスチックを探し、瓶に入れる。 ③ 瓶に水を入れ、浮いてきたプラスチックを選別する。 ④ 選別されたマイクロプラスチックをルーペで観察し、元は何だったのか考える。 ⑤ マイクロプラスチックにどんな問題があるのかを知る。 ⑥ プラスチックに代わるものがあることを知る。 ⑦ マイクロプラスチックを生み出さないために自分でできることを「減プラ宣言」として書き、貼りだす。 <p>*代替品の展示を見る。</p>
参加対象	小学生以上(小学生は保護者同伴、中学生以上は単独参加可)
参加人数	一般参加26名(大人14、小学生12)スタッフ11名(会員7、フォーラム3、講師1)



手賀沼のマイクロプラスチック調べ



講師小倉久子さんから検見川浜の砂の提供



マイクロプラスチックの問題を知り、自分ができていることを考えました





参加者や実施団体の感想	<p>【減プラ宣言】 86の宣言がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるべくゴミのふくろなどをもってせかいをきれいにする。 ・プラゴミのかうりょうをへらして、外にとばないようにできるだけ中におく。 ・へちまをそだててスポンジをつくる。 ・なるべく自然由来のものを使いたい。木・鉄(金属)を活用して無駄をなくす。 ・使いやすさ安さより少し高くても未来を大切にします。
-------------	--

企画名	冬水田んぼで稲刈りをしよう
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらった連続企画の第3弾。みんなで田植えをし、かかしに守ってもらったお米を収穫します。
日時	2023年9月10日(日) 8:30~11:30
プログラム・概要・ルート等	一般参加者と子ども部会は黒米を、手賀沼トラストの会員は粒すけ米と黒米を刈り取りました。 稲刈りを終えた子供たちは、虫捕り大会に参加。どれだけ多くの種類を捕まえられるかで競いました。 200人近い参加者で大賑わいでした。
参加対象	一般市民
参加人数	一般参加 45名(大人22名、子ども23名) 農教室大人部会 53名、トラスト会員 5名、子ども部会 69名(大人29名、子ども40名) スタッフ: 9名



参加者や実施団体の感想	雨で順延となった日曜日、猛暑のなかの稲刈りでした。 子供たちは稲刈り終了後、恒例の虫捕り大会。チームごとに捕まえた種類の多さを競いました。遊ぶだけではなく、田圃をめぐる生き物の勉強もしました。 今年もかき氷のかわりにチューペット。美味しかった。
-------------	--

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">川めぐりと木下の史跡散歩</p>		
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子の文化を守る会 問合せ先 佐藤 やす子 TEL： 090-8081-9139 ホームページ： http://abikonobunka.sakura.ne.jp/</p>		
<p>目的</p>	<p>船からの視察と史跡巡りで、手賀沼の現況を知り手賀沼環境保全を考える機会とする。</p>		
<p>日時</p>	<p>2023年10月17日（火曜日）11：15～15：00 集合：印西市中央公民館（11：15）</p>		
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>印西中央公民館で参加者に本日の目的と流れを説明し、手賀沼の環境講和を行った。</p> <p>【環境講話】 「めざそうよ 恵み豊かな 手賀沼」他パンフレットによりフォーラム事務局スタッフから手賀沼の水溶性植物・水質など現状の環境の解説を聞きました。 約15分</p> <p>【手賀排水機場】 手賀排水機場の機能等の説明、記念館で手賀沼干拓史を見学しました。 約20分</p> <p>【川めぐり】 印西観光協会協力で、21名が2艘に乗船し、地域史・手賀沼流域の現況を見学。 ルート： 弁天川 ⇒ 手賀川 ⇒ 下手賀川 ⇒ 手賀川 ⇒ 六軒川の4川めぐり 約60分</p> <p>【木下の史跡散策】 印西ふるさと案内人協会の協力により、木下河岸の歴史や地域の文化、上町観音堂と木下貝層等の説明を受けました。 ルート： 中央公民館前 ⇒ 木下河岸跡・利根川土手 ⇒ 貝化石灯籠 ⇒ 木下交流の杜歴史資料センター ⇒ 木下貝層 ⇒ 上町観音堂 ⇒ 木下駅解散 約100分</p>		
<p>参加対象</p>	<p>我孫子市民及び近隣自治体市民</p>		
<p>参加人数</p>	<p>一般参加19名（大人19名） 会員スタッフ：2名、講師：5名、フォーラム事務局：1名</p>		
	<p>排水機場のポンプを見学しました</p>		<p>船中で昼食をとりながら川めぐりです。</p>
	<p>高台から利根川を望みました。</p>		
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>【参加者の感想】 今回の参加でまだ手賀沼の水質改善が遅れていることを知りました。干拓がらみの歴史や、かつての六軒の賑わい、木下の歴史の一端に触れ、有意義な一日でした。</p> <p>【スタッフの感想】 初めて予備日を設定して運営しました。天候に恵まれ、船の中で手賀沼に繋がる環境や木下の史跡を巡り、地域の理解に繋がる楽しい一日でした。</p>		

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">手賀沼賞 エコ・こども教室</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 野倉元雄 TEL : 090-1731-3147 Email : m.nokura@jcom.home.ne.jp</p>
<p>目的</p>	<p>我孫子市の小・中学校の生徒を対象に、教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」の中から選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。 子供たちに研究作品等の発表機会を設けると共に、多くの人に作品の成果を広める。</p>
<p>日時</p>	<p>パネル展示 : 10月1日～15日 9:00～15:00 アビスタストリート 口頭発表教室 : 10月15日(日) 10:00～12:00 アビスタ第一学習室 エコクイズ大会 : 10月15日(日) 9:30～15:00 アビスタストリート</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■「科学作品展」で選ばれた「手賀沼賞」受賞作品から、環境レンジャーが発表してもらう作品を5点選出 ■あびこ子どもまつりに参加し以下を実施 ■プログラム <ol style="list-style-type: none"> (1) 手賀沼賞受賞者による作品の口頭発表、コメンテーターによるコメント、表彰 (2) 発表作品パネルのアビスタストリート展示と、作品内容に基づくクイズに答えることで、作品の理解を多くの人に広め、深める。クイズ参加賞としてノベルティを配布
<p>参加対象</p>	<p>小中学校の児童生徒ならびに一般市民の方々</p>
<p>参加人数</p>	<p>◆発表会： 一般 45名、コメンテーター 3名、スタッフ 8名 ◆エコクイズ大会： 総参加者 335名、 内クイズ実施者 163名</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p style="background-color: yellow; padding: 2px;">発表会</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p style="background-color: yellow; padding: 2px;">クイズ大会</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>第一に子どもたちの夏休みの作品のレベルの高さに毎年のことながら感心させられる。 第二に発表も事前準備がよく、落ち着いて元気よくできている。 第三に終わった後の晴れがましくもやり切った充実感の溢れる表情が素晴らしい。 立派に成長していくことを期待できる。</p>

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">手賀沼親子ふれあい探鳥会 ～親子で手賀沼周辺の山野の鳥と水辺の鳥を楽しもう～</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子野鳥を守る会 問合せ先 桑森 亮 TEL: 090-4614-1833 Email: r-kuwamori@jcom.zaq.ne. ホームページ: https://abikoyacho.org/</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼流域の市民に「手賀沼周辺の探鳥の楽しさ」を知って頂き、野鳥観察を通して市民同士の交流を図るとともに、次世代層に自然環境の大切さを体感して頂きます。</p>
<p>日時</p>	<p>2023年12月2日(土) 9:00～12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9時手賀の丘公園「どんぐりの家」前に集合、9時15分から探鳥会を開始。 ・ 手賀の丘公園～手賀沼南岸～手賀の丘公園のコースを4班に分かれて探鳥。 ・ 我孫子野鳥を守る会会員が主に野鳥を見つけ、遠くの野鳥はスコープでより鮮明にその美しさを知ってもらう。 ・ 会員は見られた野鳥の特徴や生態などを説明し、野鳥への親しみを深めてもらう。 ・ 最後に観察した野鳥を確認・記録し、参加者に野鳥缶バッジ、野鳥カード、野鳥写真リストをプレゼントしました。
<p>参加対象</p>	<p>手賀沼流域市民を中心に、広域の一般市民も対象にします。</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加40名(大人29名、小学生11名) スタッフ14名(会員13名、内講師4名、手伝い9名)、フォーラム事務局1名</p>
 <p style="text-align: center;">集合時間になると参加者が集まりはじめます</p>	 <p style="text-align: center;">スケジュールの説明など、探鳥会がスタート</p>
 <p style="text-align: center;">手賀沼の水鳥を観察。カモが沢山見られました</p>	 <p style="text-align: center;">途中の農地でもいろいろな野鳥が見られます</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>毎年恒例の探鳥会ですが、今年は定員50名のところ、48名(内2名は会員)の参加申し込みがあり、直前に、お子様のインフルエンザにより2家族6名がキャンセルになりました。当日は、40名全員が参加され、好天にも恵まれ、41種の野鳥が観察できました。参加者の皆さんも野鳥観察の楽しさを手賀沼の自然環境を体感していただけたと思います。</p> <p>ただ、手賀の丘公園がキャンプ場になったことにより、公園が過度に整備され、野鳥が少なくなったことが残念です。</p>

企画名	鳥凧をつくろう！
実施団体	団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 野倉元雄 TEL : 090-1731-3147 Email : m.nokura@jcom.home.ne.jp
目的	「鳥の街我孫子」に相応しい鳥凧作りを通して、子供たちにもものづくりの楽しさを体験してもらおう。鳥凧作りで凧が上空に舞い上がる仕組みを子供たちに知ってもらおう。年末に制作した凧を冬休みに自らあげて確認し、出来具合や修正方法を学習する。
日時	2023年12月9日（日）13:00～15:10
プログラム・概要・ルート等	※ 鳥凧制作には竹ひご、ポリ袋やストローなどをカットする準備工程があり、環境レンジャーのスタッフが事前にキットとして参加組数分を準備しておいた。 ※ 鳥の博物館友の会「鳥凧同好会」協力を得て、当日は上野会長にアドバイザーとして参加頂いた。 ① 鳥凧の仕組みと手順の説明 ② 竹ひごの長さの違いと部位の説明、竹ひごの組み合わせによる強度調節、ビニールシートへの縫い付け又はセロテープによる取り付け指導 ③ 鳥の頭部の作成と翼部分のビニールシートへのワッペン貼付け等による飾りつけ ④ 凧の足（ひらひら）の取り付け
参加対象	小学生 10名（低学年は保護者同伴）
参加人数	一般参加 18名（大人9名、小学生 9名） 会員スタッフ 7名（会員5、外部講師1、手賀沼課1） 合計 25名
実施場所	手賀沼親水広場 水の館 研修室



鳥凧が大きいので大きなテーブルで作ります



全参加者が立派な鳥凧を完成できました

参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一家そろっての参加や孫のために習得したいとの思いから一人で参加した方もあり盛況で、鳥凧を作れたことをとても喜んでいました。 ・ 初めての企画で、説明者が作り方などを十分に把握できておらず、参加者との意思疎通がスムーズでなかった部分もあったが、「鳥凧同好会」から頂いた作成済みの鳥凧の展示が理解の手助けとなった。また、製作時間が予定をオーバーし、屋外での試し飛行が出来なかったことが悔やまれる。 ・ 帰り時、隣の空き地で何組かの家族が作成した鳥凧を飛ばそうとしているのが見られ、そのひとつは空高く風をうけ羽ばたいているのを見て感動を覚えた。
-------------	---